

織

ぎふし男女共同参画情報紙

女系と男系がつむぐ社会

—いごちのよい人間模様の布を織るために—

2015

VOL.12

特集

座談会

昭和 & 平成

～3世代 ホンネ ウォッチ～



昭和

キャリア世代*

昭和39年

●東京オリンピック開催



昭和

ベテラン世代*

昭和20年

●第二次世界大戦敗戦



平成

フレッシュ世代*

平成元年

●消費税3%導入

(※この世代名称は、座談会のために編集委員が考えました)

メンバー紹介

①職業・以前の職業は? ②あなたの好きな言葉は?

キャリア世代

戸崎 明さん
(昭和44年生まれ)

- ①花き生産者
- ②これでいいのだ

竹内 靖子さん
(昭和38年生まれ)

- ①ライフオーガナイザー*
- ②自分らしく

(※ライフオーガナイザー：
整理のプロ・思考と空間の片付け)

ベテラン世代

長澤 忠男さん
(昭和17年生まれ)

- ①元大垣市議会議員
- ②誠実

浅野 香子さん
(昭和16年生まれ)

- ①元教師
- ②「生きているを見つめる
生きているを考える」
(中村桂子さんの言葉)

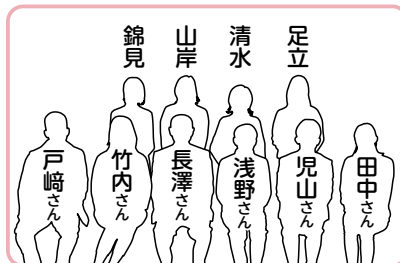
フレッシュ世代

児山 晃大さん
(平成元年生まれ)

- ①団体職員
- ②正義

田中あゆみさん
(平成元年生まれ)

- ①司書
- ②すべての色に
役割がある



編集委員

錦見みゆき (40歳代)
山岸 康子 (40歳代)
清水 裕子 (30歳代)
足立 千春 (40歳代)

～平成26年度チャレンジ支援セミナーを修了した市民編集委員が企画編集しました～

Q.3

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方は持っていますか？

長澤：私は、夫に生活を守るだけの収入があれば、妻は特に働かなくても良いと思う。妻が自ら働きたいという希望を持っていれば、働くことに賛成。家庭はお互いの協力が必要なので、金銭的に苦しければ妻にも働いて欲しい。

戸崎：特にそういう意見は持っていないが、自分は育児に関しては妻にお任せだった。僕の農業は夫婦不仲では無理なので、育児は妻中心だったが連携していた。妻がしたいことには全てOKしていた。

児山：特にそういう考えはないが、夫に収入があれば妻が家庭を守ってもらってもいいと思う。妻に収入があれば、自分は専業主夫もありだと思う。

田中：私の母は働いていたので、女性が家にいるべきという考えを小さい頃から持ったことがない。スーツ姿の母がかっこいいと思っていた。今は不景気で、共働きでないとやっていけない時代だと思う。

竹内：我が家は夫婦共に外に出ているが、くつろげる環境は女性を中心に家族で作るものだと思う。家事も家の仕事だと思うし、お互い感謝の気持ちを持ち、「ありがとう」が自然に出る家庭であればいい。

浅野：人それぞれで良いと思うので、固定的な考えはない。「男は女は…」とお互い生きにくくすることはない。個人的には女性が社会進出することは家庭では味わえない醍醐味だと思う。外で働くことに賛成。



固定的な役割分担意識もなく、自分らしく輝けるとステキですね。女性センター職員

Q.4

「男だから、女だから…」 こうあるべきだと思っていますか？ 親から言われたり、また自分も 子どもに言いましたか？

浅野：父に生意気な事を言った時、「やっぱり女に教育はいらなかった」と言われた。

長澤：男はたくましく！女は優しく！と自分は子どもにそう言って育ててきた。

竹内：親からは女の子は早く結婚した方が良いと言われた。価値観の違いを認めることが大事だと思う。

戸崎：男は自立、女は愛きょう、だと思っている。

田中：親に言われたことはない。男として女としてより、人間としてどう生きたいかが大事だと思う。

児山：親には男は泣くなと言われた。各自が自分の性別にプライドを持つことは良いと思うが、強制はよくないと思う。



世代別でカラーが出ていたと感じました。子どもたちが生きる未来、誰もが生きやすい社会であることを願っています。(清水)

昭和&平成 できごと ヒストリー (3世代のメンバーの方が生まれた時代)

昭和20年 第二次世界大戦敗戦

昭和22年 日本国憲法施行

昭和39年 東海道新幹線開業・東京オリンピック開催

昭和47年 沖縄返還

昭和58年 東京ディズニーランドがオープン

昭和61年 男女雇用機会均等法施行

平成元年 消費税3%導入

平成4年 育児休業法施行

平成7年 阪神・淡路大震災・地下鉄サリン事件

平成13年 DV防止法施行

平成23年 東日本大震災

平成24年 ぎふ清流国体開催

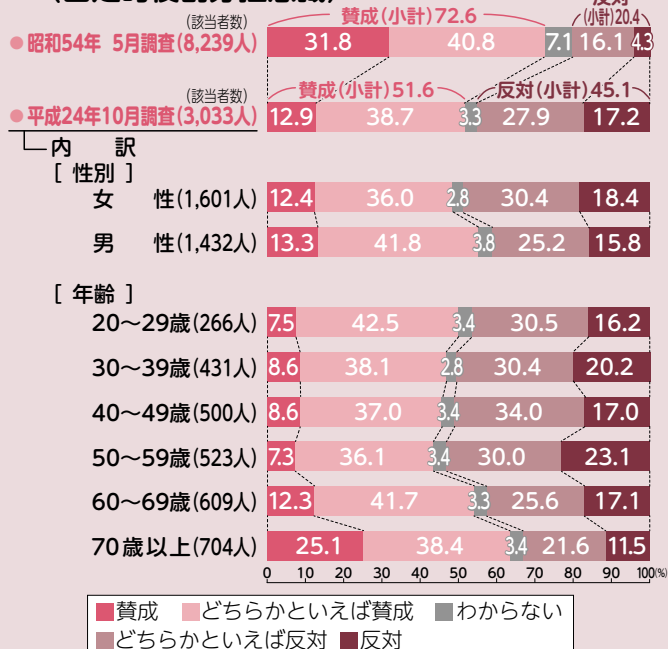
昭和 ベテラン世代

昭和 キャリア世代

平成 フレッシュ世代

国の調査では、こうなりました!!

Q. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである (固定的役割分担意識)



内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成24年10月)等、内閣府世論調査より作成

21世紀、すべての人が輝ける時代に！

岐阜市女性センター所長 寺松みどり

1975年(昭和50年)、『国際婦人年世界会議(第1回世界女性会議)』がメキシコシティで開催され、1995年(平成7年)の北京大会に至るまで、「女性の人権問題」について様々な議論がなされました。その潮流の中、我が国では、1999年(平成11年)に「男女共同参画社会基本法」が公布・施行され、15年を経て法整備も少しずつ進みました。

今回の座談会は大変意義深いホネトークになり、ゲストの方々に感謝いたします。マスメディアで、女性の人権を見聞きしたベテラン・キャリア世代、教科書の中で学び、当たり前のように男女平等を知るフレッシュ世代の話を、互いに聞き語り合うことができました。時代はさらに流れ続けていきます。次世代に“希望ある未来”を繋げることは、全ての世代が担うべきミッションであろうと考えます。



特集

座談会

昭和 & 平成

～3世代

ホンネ ウォッチ～

昭和生まれの2世代！平成生まれの若者！多くのホンネが飛び交った3世代の座談会は、時代背景を象徴する話も伺え、とても盛り上がりました。

Q.1 20代で自分が夢中になっていたこと(なっていること)は何ですか？

平成 フレッシュ世代



特に趣味はない…仕事で手一杯です。(児山さん)



昔の映画を家でみること。色々な見方や考え方を学べて楽しい。(田中さん)

今もその頃もアウトドア派。一人で海外に行っていた。(戸崎さん)



昭和 キャリア世代



スキーです。奥美濃、長野のスキー場によく行っていた。(竹内さん)



昭和 ベテラン世代



ソフトボール！国体を目指しました。魚釣りが大好きだった。(長澤さん)

50年も前のことだから…あまりよく思い出せないが、教師の仕事に必死だった。素敵な恋愛を夢みていたかな。(浅野さん)



キャリア世代の私も夏はバーベキュー、冬はスキーと、みんなで楽しんでいました(錦見)

(※司会進行：編集委員の足立、錦見)

Q.2 結婚や子育てについて

田中：今、仕事を始めて3年目ということもあり、仕事優先です。もう少しキャリアを積みたい。子どもの頃は30歳前に結婚するのが当たり前だと思っていましたが…。

司会：結婚しても仕事を続けたい？

田中：私は結婚しても仕事は続けていきたいと思う。大学の職場体験の時に「女の子は結局やめちゃうからね」と言われた事がショックだった。

児山：これといった結婚観は持っていないのかも。いつまでに結婚したいということもない。パートナーの考え次第で共働きでもいいし、家にいてもらってもいい。自分が幼稚園の頃までは母親が家にいたが、その後は共働きだった。

竹内：夫の親と同居していた。結婚後も仕事を続けたのは、同居だったことや自分のお小遣いは自分で稼いだから。現在はライフオーガナイザーの資格を取り、やりたい事を仕事にするため起業をした。

司会：夫の協力はありますか？

竹内：結婚当時、夫は親の手前、家事の協力はなかったが、今は親も亡くなり、「できるほうがやればいいよ」と言って家事等を協力してくれるようになり、感謝している。女性が外で働くには家族の理解や協力が必要だと思う。

戸崎：仕事は自営で、今どき珍しく専業農家です。子育ては妻任せで、自分はやりたい放題やらせてもらった。

普段自分は家にいないので、最終的には妻にお返しができればと思っている。

司会：父親として心がけていたことはありますか？

戸崎：子育てに関しては、やっていないから偉そうなことはいえないが…父親として息子に関しては一定の距離感を持って、圧倒的な存在でないといけな、とは思っている。母親だけではどうにもならない時が父親の出番だと思う。

浅野：結婚はするものだという時代だった。周りからのプレッシャーが大きかった。結婚をした



当時のプレッシャーって何だかすごく大変そう…昔に比べると、結婚に対する意識は大きく変わりましたね。(足立)

が、色々な事情で仕事は続けられない状況だった。子育ては周りの人たちに助けをもらいながらやってきた。当時はその日その日を必死に過ごしてきた感がある。

長澤：職場結婚だった。周りの人はお見合いをしていたから、一度はしてみたかった。

仕事人間で家のことは妻任せで一切やらなかったが、子どもに対しては大きくなるまでに何か実績を残したいと思っていた。授業参観にできるだけ参加する、毎年どこかへ連れていくなど。

司会：退職後、家族に対して何か変化はありましたか？

長澤：家にいるようになってからは想像以上に家庭の主婦はすごいと思った。妻の働きぶりに驚いた。そして自分は1つだけは手伝おうと思い、食事の後片付けをしている。

チャレンジ支援セミナー「私らしく輝きたい!!」の受講者の方に、今年度も

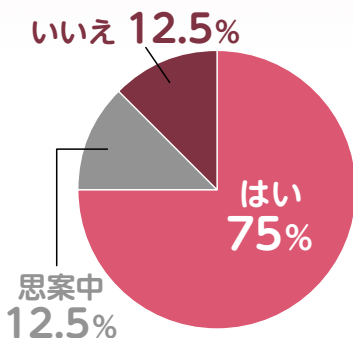
追跡調査をしました!!

※チャレンジ支援セミナーとは、「もう一度働きたい! 能力を生かしたい! 社会参画したい!」などチャレンジしたいと思っている女性を対象に行ったセミナーです。

Q セミナー後、一歩踏み出せましたか?

	人数
はい	18
思案中	3
いいえ	3
合計	24

(24/43)(回収率 56%)



『はい』の方

- 何がしたいのかをきちんとみつめ直すことができ、就職出来ました。(4人)
- セミナーで仲良くなった方々で、毎月自分の得意分野を披露し、お互いに学び合うことにしました。(2人)
- 通信制の専門学校に入学しました。
- 学校や部活関係の役員の仕事に前向きに取り組んでいます。
- ボランティア活動を始めました。
- 希望する仕事に人員登録する事ができました。まだ仕事が決まったわけではないですが、とりあえずの第一歩を踏み出せました。

『思案中』の方

- 勇気がなくてまだ働いていないですが、セミナーを受けて前向きに考えられるようになりました。
- 何となくのイメージはあるけれど、それを形にするには何が必要なのかわからない。
- 講師の先生のお話や、同じ様な目標を持っていたり、目標が分からないけど前に進もうとしている方々から元気と勇気を頂き、何らかの形で進んでいけたらと考えています。

『いいえ』の方

- 毎日忙しく子どもも小さいため、働くのは先延ばしにしています。
- 第2子の妊娠が発覚し、今は出産・育児に邁進しています。



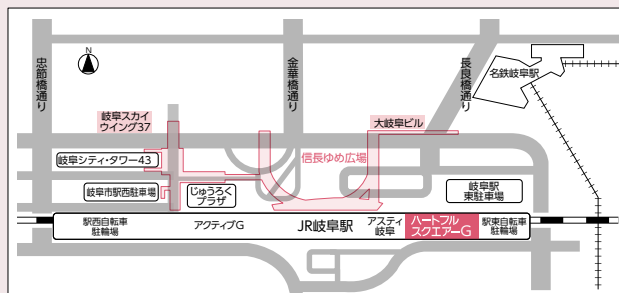
INFORMATION

岐阜市女性センター (ハートフルスクエア G 2階)

男女共同参画社会の実現を目指すための拠点施設です。JR岐阜駅高架下、東エリアにあり、交通の便の良いところです。どなたもお気軽にお立ち寄りください。

- 開館時間 午前9時～午後9時
- 休館日 毎月最終火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)
年末年始(12/29～1/3)

でかけて
みませんか!



学びたい 『みんなで楽しい講座のひとつときを…』

男女共同参画についての理解を深め、新しい自分の世界に踏み出すための講座等を開催します。

チャレンジ支援セミナー、男女共同参画週間記念講演会、ワーク・ライフ・バランス講座、ぎふし男女共同参画こらぼ講座、子育て支援講演会 等



- 講座中の無料託児もあります。(申込み時要予約)



困った 『ひとりで悩まないで…』

電話相談(一般) ☎0120-786874 (ナヤムハナシ)

受付日時: 月曜～土曜 午前10時～12時、午後1時～4時
(ただし祝日・休館日・年末年始・イベント開催日などを除く)

面接相談(専門) 要予約: 女性センター
TEL (058)268-1052

無料 秘密厳守

法律(弁護士)・心(相談員)・健康(助産師・看護師)
家計(1級ファイナンシャル・プランニング技能士(CFP))
※詳しくは広報ぎふまたはホームページにてご確認ください。

交流したい 『新しい生き方を探して…』

男女共同参画社会の実現に向けて活動する市民団体で例会(ハートフルネットぎふ)を開催し、交流を深めています。また、おしゃべりサロンも年2回開催します。

知りたい 『最新情報の発信を…』

「ぎふし男女共同参画情報紙『織』」「女性センターだより」等を発行。「子育て情報コーナー」「岐阜労働局雇用均等室コーナー」を常設。「ホームページ」の更新、「図書」「DVD」の貸出。